

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	子ども家庭局子ども家庭部保育課
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

1 指定概要

施設概要	名称	北九州市立第1緑地保育センター（おひさまのいえ） 北九州市立第2緑地保育センター（もりのいえ）	施設類型	I	目的・機能	⑦
	所在地	北九州市若松区大字竹並925番地の1 北九州市小倉南区長野530番地の3				
	設置目的	豊かな自然環境の中で、児童に健全な遊びを与えて保育し、その心身の健全な発達を図ることを目的とする。				
利用料金制		<input type="checkbox"/> 非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制 <input type="checkbox"/> インセンティブ制 有・ <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ペナルティ制 有・ <input type="checkbox"/> 無				
指定管理者	名称	社会福祉法人 北九州市福祉事業団				
	所在地	北九州市八幡東区中央二丁目1番1号				
指定管理業務の内容		【第1・第2共通】 ・施設の運営と管理 ・宿泊保育事業（新型コロナウイルス感染症対策のため中止） ・日帰り保育事業（新型コロナウイルス感染症対策のため、一日一園のみに利用を制限して実施） ・親子宿泊事業（新型コロナウイルス感染症対策のため中止） ・子育てグループサポート事業（新型コロナウイルス感染症対策のため、一部利用を制限して実施） ・出前講演事業（新型コロナウイルス感染症対策のため中止） ・ファミリーレクリエーション事業（新型コロナウイルス感染症対策のため中止） 【第2のみ】 ・ホテル育成事業				
指定期間		平成31年4月1日～令和6年3月31日 (令和7年3月31日まで延長予定)				

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント						
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み						
(1) 施設の設置目的の達成						
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。						
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。						
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。						
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。						
[所見]						
<p>■両施設共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度末から市内でも新型コロナウイルス感染症の感染者が確認されたため、宿泊保育は全面中止し、日帰り保育は、1日1園のみの受け入れとし、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めていた。宿泊保育の代替保育として、日帰り保育の活動プログラムを職員の経験や専門性を活かしてアレンジするなど、楽しんでもらえるよう工夫している。 施設利用後は、利用団体から届いた児童作成の作品を館内に掲示し、お礼状を送付したり、卒園の時期には宿泊利用団体の卒園児宛にお祝いの言葉を送ったりするなど、関わりを持った児童との交流を大切にすることで、保育の一端を担う取組みを行っている。 						
<p>■第2緑地保育センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ほたる育成事業」においては、数年、施設裏の小川の環境整備に取り組んだ成果として、ほたるの飛翔が毎年確認できるようになった。 						
【第1緑地保育センター】						
実施項目	数値目標	事業実施回数	R4実績	目標達成率	R3実績	対R3実績
宿泊保育	3,000人	0団体	0人	0%	0人	0%
日帰り保育	5,500人	147団体	3,414人	62.0%	3,228人	106%
親子宿泊	78人	0回	0人	0%	0人	0%
子育てグループ支援	150人	9回	95人	63.3%	84人	113%
ファミリークエーシヨン	80人	0回	0人	0%	0人	0%
出前講演	4,500人	0回	0人	0%	0人	0%
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和元年度2月以降は、宿泊保育は中止され、日帰り保育は1日1園のみの利用とした。						

【第2緑地保育センター】

実施項目	数値目標	事業実施回数	R4実績	目標達成率	R3実績	対 R3実績
宿泊保育	4,350人	0団体	0人	0%	0人	0%
日帰り保育	5,200人	155団体	5,122人	98.5%	4,115人	124%
親子宿泊	114人	0回	0人	0%	0人	0%
子育てグループ支援	330人	2回	35人	10.6%	0人	350%
ファミリーレクリエーション	185人	0回	0人	0%	0人	0%
出前講演	470人	0回	0人	0%	0人	0%

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和元年度2月以降は、宿泊保育は中止され、日帰り保育は1日1園のみの利用とした。

(2) 利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

- ・利用団体の代表者や保護者を対象に毎年実施しているアンケートでは、両施設ともに「施設の充実度」「サービスの充実度」「プログラムの充実度やPR度」のすべてにおいて「非常に満足」「満足」が99%以上であった。
- ・総合評価においても、両施設ともに「非常に満足」「満足」と回答した割合が100%となっており、利用者の満足度は非常に高い。
- ・アンケート中の自由記入欄に記載された内容については、原則として、その都度、回答や説明を行っている。
- ・さらに、利用団体との事前打合せや当日の協議を随時行うことで、意見・要望についての聞き取り調査を行い、利用者の意見・要望に対して誠意を持って対応するとともに、その把握に努めている。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、宿泊保育が中止になったが、それに代わる日帰り保育の活動プログラムを充実させて実施したことで、アンケートでも、「様々な工夫がされたプログラムで子どもたちも心から喜んでいた、十分に楽しめた。」との声が多く聞かれた。
- ・毎月の指導会議や事業ごとの反省会議を開き、プログラム内容や指導方法、施設内外の環境改善等を検討し、随時、見直しや改善を行うことでサービスの向上に努めている。

【アンケート集計結果（「非常に満足」「満足」の割合）】

※ 回答数（R4）第1緑地：96件／第2緑地：146件

年度	施設区分	施設	サービス	プログラム・PR	総合評価
R4年度	第1緑地	99.3%	99.9%	97.9%	100.0%
	第2緑地	100.0%	99.5%	96.1%	100.0%
【参考】 R3年度	第1緑地	100.0%	99.8%	100.0%	100.0%
	第2緑地	100.0%	99.9%	99.7%	100.0%

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

[所見]

- ・施設の維持管理に係る再委託業務については、法人が管理する施設全体をもって、一括して競争入札に付することで経費削減に努めた。
- ・また、館内一部の清掃を職員が行ったり、段階的に各部屋の照明をLED照明へ取替えを行ったりするなど、経費削減に努めている。
- ・事務室暖房は、ガスファンヒーターを使用し、灯油の使用料を削減している。
- ・更に、利用者に向け、節電・節水の協力を呼びかける掲示物を増やした。

区分	R3年度 決算額	R4年度 決算額
指定管理料	86,790 千円	86,790 千円
総事業費	86,790 千円	86,790 千円
うち、光熱水費	3,391 千円	3,733 千円

(2) 収入の増加

- ① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

※ 本施設は利用料金制を取っていないため、該当なし。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

[所見]

■両施設共通

- ・毎年、事業計画に基づき、適正な人員配置及び運営を実施している。
- ・両施設の指導力、技術力向上を図るため、毎年、交流指導研修を実施している（令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症対策のため中止）。また毎年2～3回、両施設の連携を図るための合同会議を実施している。
- ・職員の資質向上のため、「保育士研修」「障害児保育研修」「人権研修」等を受講させている。さらに、職場内伝達研修やOJTの活用により、指導力及び研修効果のアップに繋げている。
※新型コロナウイルス感染症予防のため、研修はリモートで参加するなどしている。

■第1緑地保育センター

- ・隣接するグリーンパークと連携し、プログラムに動物とのふれあいを取り入れることでプログラムの多様化を図っている。（令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症対策のため中止）
- ・平成27年から、「市立教育センター」からの依頼で、「玄海青年の家」の職員と協働して、新規採用幼稚園教諭に対して、野外活動時の注意点などを伝える研修の講師を務めることで児童の安全確保に繋げている。

■第2緑地保育センター

- ・施設が位置する長野緑地公園内の清掃活動や防犯活動に取り組み、必要に応じて警察や地域との連携を図っている。
- ・また、全国野外保育センター連絡協議会参加の施設と連絡を取り合い、情報交換をすることで運営に役立てている。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はない

か。
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。
<p>[所見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の個人情報については、「北九州市福祉事業団個人情報保護規程」に基づき、必要最小限の内容の把握に努め、個人情報データはパスワードで管理、個人情報を含む書類は施錠できる書棚で保管し、不要になった個人情報は速やかにデータ消去及びシュレッダー処分を行うなど、適正に管理している。 ・安全対策では、「緑地保育センター危機管理・安全対策マニュアル」及び「緑地保育センター安全管理点検項目」に基づき、危険箇所の有無について点検し、利用前の打合せ時や当日の確認を徹底している。 また、幼児にも分かりやすいようイラストによる危険箇所の表示を行ったり、利用団体から代表の管理者（「まもるんじゃー」というキャラクター）を選出したりと、安全管理等の意識を高める取組みを行っている。 ・不測の事態に備え、適切な行動が取れるように、各種避難訓練（火災、地震、不審者侵入時等）を適宜実施している。 ・両施設合同で救命救急講座を年に一度実施している。（令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症対策のため各施設で実施） ・設備面については、防犯カメラや防犯灯、不審者対策の防護器具等を設置している。また、施設内に設置してあるAEDを使用し、職員に対し救命講習を行っている。 ・「北九州市福祉事業団施設事務局緊急連絡網」を整備し、電話、ファックス、電子メール等により迅速かつ正確に情報を伝達できる体制を確立している。 ・火災時には、「北九州市福祉事業団災害対策要綱」により、災害対策本部の設置や人員動員体制の整備を行い、施設利用者の生命・財産の保護や建物・設備などの防護を図る体制を確立している。

【総合評価】

<p>[所見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策のため、宿泊保育の中止や一日の利用団体数の制限を行うなかで、制限下でも楽しんでもらえることは何が出来るかを考え工夫した点や利用団体の意見・要望の把握に積極的に取り組む姿勢を評価した。 また、利用団体の児童との継続した交流を大切にすることで、保育の一端を担い、さらには次年度の利用に繋げる切れ目ない取組みについても評価できる。 ・これまで宿泊保育等の利用日の日程調整については、一同に会して抽選会を

実施していたが、感染症対策として、オンラインで実施するなど柔軟に対応している。

- ・日帰り保育では、利用する団体の前年のアンケート内容を参考に、利用団体との事前協議を実施するとともに、当日も随時打ち合わせを行うことで利用者のニーズに応え、サービス向上に努めている。
- ・両施設とも地域や近隣施設と連携することで施設の魅力向上を図っている。
- ・施設の管理や安全対策、危機管理については、それぞれの目的に応じたマニュアル等を整備しており、適切と判断できる。また、新型コロナウイルス感染症防止のため、消毒等も徹底されており、利用者の安心につながっている。

[今後の対応]

- ・今後も、現状に満足することなく、利用者の意見・要望の把握に努め、利用者の満足度の維持・向上を図るとともに、新型コロナウイルス感染症が収束した後は、また施設稼働率8割以上を維持していただきたい。
- ・豊かな自然の中での宿泊体験や集団生活を通して、幼児が創造性・自主性・協調性を育めるよう、今後も経験やノウハウを活かした取組みを展開し、効率的かつ効果的な運営を継続していただきたい。